

防災診断で災害に備えよう

～“いのち”を守る、3つのCheck～

保存版
令和2年6月発行



鹿児島市 危機管理局 危機管理課 TEL:099-216-1213

令和元年6月末からの大雨では、平成5年の8・6豪雨災害時を上回る雨が降っており、私たちの身の回りで、災害はいつどこで起こるかわかりません。

わが家の安心安全ガイドブックなどを活用しながら、この「防災診断」で、避難所での感染症対策も含め、“いのち”を守るための3つのチェックを行い、災害に備えましょう。

※鹿児島市ホームページで、この「防災診断」の見方に関する動画もありませんので、ぜひご覧ください。



(平成30年3月全世帯配布)

Check1 い いますぐに、自宅の安全確認を！ ～自宅避難か自宅外避難か～

自宅の危険度を確認し、「避難行動判定フロー(流れ)」で自宅避難か自宅外避難かを判断しましょう。

避難行動判定フロー(流れ)

平時に確認

あなたがとるべき避難行動は?(チェックしていきましょう)

「わが家の安心安全ガイドブック」などで自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

自宅がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

災害の危険があるので、原則として、**自宅外避難**が必要です。

例外

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

いいえ

[警戒レベル3]
避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。

[警戒レベル3]
避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、鹿児島市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

自宅避難…自宅が安全な場所にある場合に、自宅にとどまること。
自宅外避難…自宅が土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域など危険な区域にある場合に、指定緊急避難場所や親戚・知人宅などの自宅外へ避難すること。

原則として、**自宅避難**をしましょう。
 ※色が塗られていなくても、危険な箇所もあるので事前に周辺をよく確認しましょう。周り比べて低い土地や崖の近くなどにお住まいの方は、鹿児島市から発令される避難情報(避難勧告等)をもとに必要に応じて避難してください。

※浸水の危険があっても、次の3つが確認できれば**自宅避難**も可能です。
 ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域(家屋倒壊等氾濫想定区域:かごしまiマップ(防災マップ)で確認できます)の外側である。
 ②想定される浸水深よりも高いところにいる。
 ③浸水しても水がひくまで耐えられる、水・食料などの備えが十分にある。
 ※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅避難**も可能です。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

いいえ

[警戒レベル4]
避難勧告等が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。

[警戒レベル4]
避難勧告等が発令されたら、鹿児島市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。凡例等を参考に自宅や学校周辺など、身の周りの危険箇所や避難場所・避難経路を確認しましょう。(着色されていないところでも災害が起こる可能性があります)

わが家の安心安全ガイドブック

かごしまiマップ(防災マップ)



Check2 の のどかな日に、災害時の備えを！ ～避難場所の確認や備蓄を～

天気の良い、時間の余裕がある時に、安全に避難等の備えをしましょう。(備えができればチェックしましょう)

【日頃の備え】

- ☐ 防災情報の入手方法の確認
- ☐ 非常持出品・備蓄品の確認
- ☐ 避難場所(指定緊急避難場所や親戚・知人宅等(日頃から相談を))の確認
- ☐ 避難経路や避難時の連絡先など家族のルールの確認

※避難行動要支援者の支援者や自主防災組織、近所の方との連絡体制も確認しましょう。

家庭内で備えよう

避難するときに自宅から緊急的に持ち出す「非常持出品」や、ライフラインの停滞等を想定して各家庭最低3日分の「備蓄品」を備えましょう。

- | 非常持出品 | 備蓄品 |
|------------|------------------|
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 飲料水(1人1日3リットル) |
| ☐ 非常食(缶詰等) | ☐ 食料品 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 卓上カセットコンロ |
| ☐ 現金(小銭含む) | ☐ 衣類(下着・上着・毛布)など |
| ☐ 救急用品 | ☐ 常備薬 |
| ☐ マスクなど | ☐ 充電器 |
| | ☐ 飲料水 |
| | ☐ 携帯電話 |
| | ☐ 健康保険証 |
| | ☐ 常備薬 |
| | ☐ 雨具 |

Check3 ち 躊躇なく、迫る危険に即避難を！ ～危険を感じる前に避難を～

避難情報が発令されたら、危険を感じる前に即避難をしましょう。(避難の心得を確認したらチェックしましょう)

【避難の心得】

- ☐ 正確な情報を収集しよう
- ☐ 避難時は動きやすい服装で2人以上で行動しよう(避難経路の状況等に注意)
- ☐ 早めに避難しよう
- ☐ いざとなったら崖から離れ、2階以上へ避難するなど屋内で安全を確保しよう

○主な防災情報の入手方法

テレビ・ラジオ

テレビのリモコンの「d」ボタンを押すと「データ放送」の画面になり、気象情報をはじめ河川の水位などいろいろな情報を取得できます。(NHK鹿児島放送局の「データ放送」を通じて、ご家庭のテレビで避難所の開設状況もリアルタイムで確認できます)

鹿児島市ホームページ

避難勧告等や避難所の開設、防災行政無線の放送内容などの緊急情報をお知らせします。
 ◇http://www.city.kagoshima.lg.jp/

鹿児島市防災情報LINE

事前登録したLINEのトーク画面に、避難勧告等や避難所の開設などの緊急情報を通知します。(登録無料)

安心ネットワーク119

事前登録したメールアドレスに、災害情報、防災気象情報、避難情報、防災行政無線の放送内容などをメールで配信します。(登録無料)
 ◇配信の申し込み→asin119@kagoshima-fd.jpに空メールを送信

大雨・台風時に鹿児島市から発令される避難情報のポイント !.....必ず確認してください.....!

災害が発生又は発生するおそれがある場合、鹿児島市は、避難情報を発令し、避難のタイミングをお伝えします。災害時に備えて、各段階でとるべき行動をチェックしましょう。

警戒レベル	市民がとるべき行動	避難情報	気象情報
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	大雨特別警報等
4	危険な場所から全員避難	避難勧告(避難指示(緊急))	土砂災害警戒情報等
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨・洪水警報等
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	—	大雨注意報等
1	最新情報に注意	—	早期注意情報

※「避難勧告等に関するガイドライン」の趣旨を変えずに、より分かりやすい表現にしています。

危険な場所からは、警戒レベル3で(高齢者などは避難)、警戒レベル4で(全員避難)です。
 ※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。
 ・警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
 ・警戒レベル5災害発生情報は、鹿児島市が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

豪雨時の自宅外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

緊急時に確認

◆避難情報の発令が分かりやすくなります

避難情報を、各行政区域(河川流域)の**土砂災害警戒区域(洪水浸水想定区域)**など危険な場所にいる市民等を対象に発令します。

【発令の地域等】

土砂: 行政区域(9地域: 中央・谷山・伊敷・吉野・吉田・桜島・喜入・松元・郡山)
 洪水: 河川流域(稲荷川・甲突川・新川・永田川)

該当する町丁名も確認できます

※土砂災害警戒区域(洪水浸水想定区域)内に該当する町丁名(一部含む)は、市HP、安心ネットワーク119、市防災情報LINEで確認することができます。
 (例)〈中央地域〉 ○○町、△△町、□□1丁目~3丁目

警戒レベル4には避難勧告や避難指示(緊急)*2がありますが、いづれにしても警戒レベル4で避難しましょう。

・警戒レベル4 避難勧告は自宅外避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。
 ※2 警戒レベル4 避難指示(緊急)は、必ず発令されるものではなく、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されることがあるものです。

警戒レベル4 避難勧告で危険な場所から避難です。

